

1 BRM 等での「電子的通過認証」とは(経緯)

『2021年に、ACPのBRM Rule(<https://www.audax-club-parisien.com/en/our-organizations/brm-world/#rules>)が改定され、PC通過の証跡としてQRコード読み取りなどの電子的手段、GPSトラックなどが利用できるようになった。これに伴い、AJ理事会において「AJ/BRM規定」「AJ Permanent規定」についても同様の変更を行う検討を行い改定案を作成、2022年1月7日(金)~1月19日(水)0:00の期間内に各主催者の電磁決議を行ったうえで、異議は出ず可決された。』

2 現状について

1.の項『』内の経緯で電子的手段での証跡の利用が可能にはなりましたが、日本国内での実際のBRM等での運用面ではAJサイトでもまだ具体的にその方法が示されておらず、早期に何かの手段が示されることを期待しているところです。

3 AJ 広島 Permanent での「電子的通過認証」の試み

AJからの具体的、詳細な手法、ルールなどは現状では示されていませんが、Permanentの場合は一度の出走者が少ないことで「電子的通過認証」の試行も容易との判断と、従来の認定に至るまでの方法も平行準備することで、参加者への不利益が生じないことなどの条件下で「電子的通過認証」を試みで取り入れての認定への運用を受け入れる旨をAJから受け、項目4.以後で示す方法で当面(2022年度~終了年度は未定)実施することとします。

4 従来型と電子的通過認証の違い

★従来の認定方法とは…

- 1> ブルベカードの携行で出発
- 2> 出走前に準備が必要なもの
デジカメ、スマホなど
- 3> スタートからフィニッシュまでの車検や通過チェックの証明写真の提出は、主催するサイトで示されるGoogleフォーム等でフィニッシュ後の期限内にアップロードし、主催者に確認を受ける。(Googleアカウントなど必要)
- 4> Googleフォームが使えない場合は、指定のリザルト提出書式を作成したうえで、メールに添付し、主催者に送って確認を受ける。
- 5> フィニッシュ後は、ブルベカードに必要事項を記入後主催者に返送する。
- 6> 各年度末にAJの認定が行われ、認定番号が発行され、主催者から認定シールが貼られたブルベカードが参加者に送られて完結

★電子的通過認証とは…

1> ブルベカードの携行で出発

2> 出走前に準備が必要なもの

◆**通過チェックポイント**を通過した時間が写真に移し込めるもの

例えば、デジカメの日時の写り込み機能、スマホの日時や位置情報の写り込みソフト

◆**位置情報の収集できる装置類**

例えば、ガーミンのGPS やスマホの各種走行ログ収集できるソフト(ストラバ、RWGPS など)

◆**完走後に主催者に完走データを送る場合のアカウント類**

Google アカウントなど

◆**走行中の予備のバッテリー類**

各個人の手持ち機器の規格に依存

3> スタートからフィニッシュまでの間、車検や通過チェック等の写真の撮影

撮影した写真には位置情報を記録させ、リザルト提出でそれが主催者側で確認できること

4> ガーミンやスマホのトラック情報の収集

走行時間が長くなる場合等でのスマホ等のバッテリー切れには注意のこと。

5> 走行実績をストラバや RWGPS 等のソフトで処理し、主催者に URL を連絡する。

ブルベカードには必要事項を記入し、主催者に返送する。

URL は主催者が確認するまでは、**限定公開リンク**で処理！！

6> 主催者は、参加者から送られてきた限定公開 URL でデータが揃っているかなど走行をチェックし、結果は参加者に連絡する。

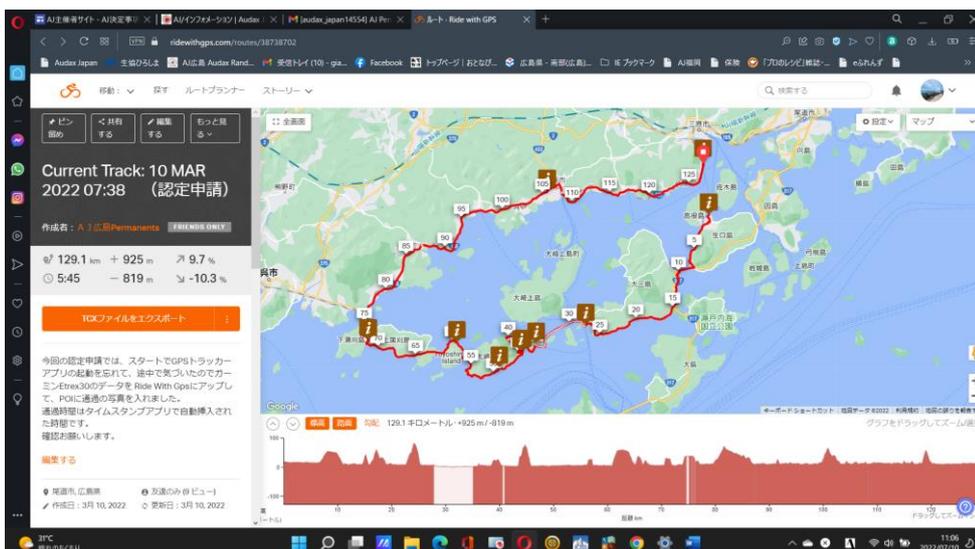
7> 各年度末に AJ の認定が行われ、認定番号が発行され、主催者から認定シールが貼られたブルベカードが走者に送られて完結

5 電子的通過認証の具体例

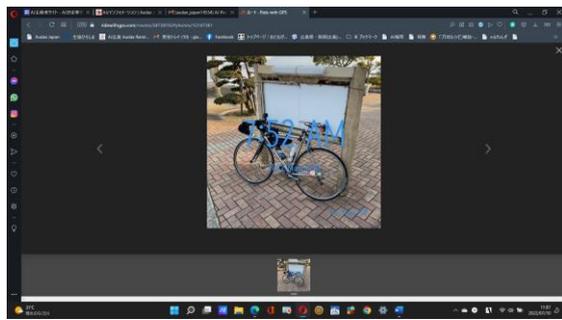
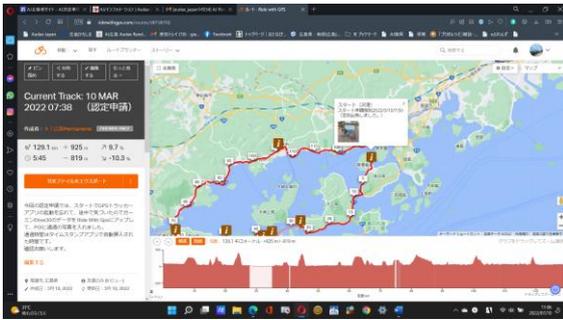
AJ 広島 Permanent「飛島 120Km」コース走行時の電子的通過認証申請の一例です。

スタートからフィニッシュまで RWGPS を起動し、トラック情報を収集しています。

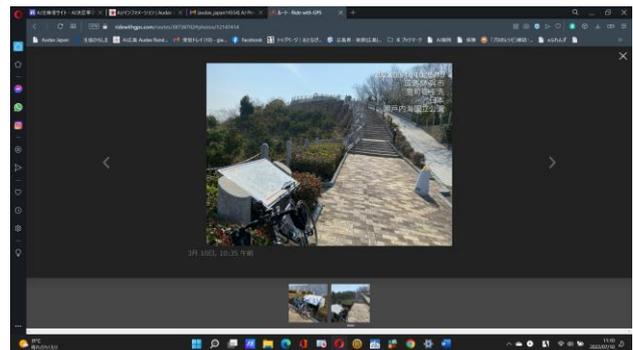
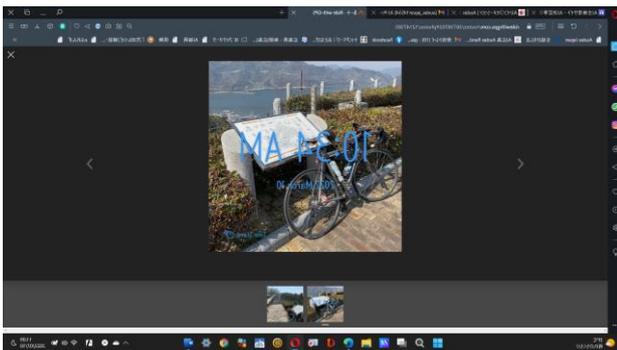
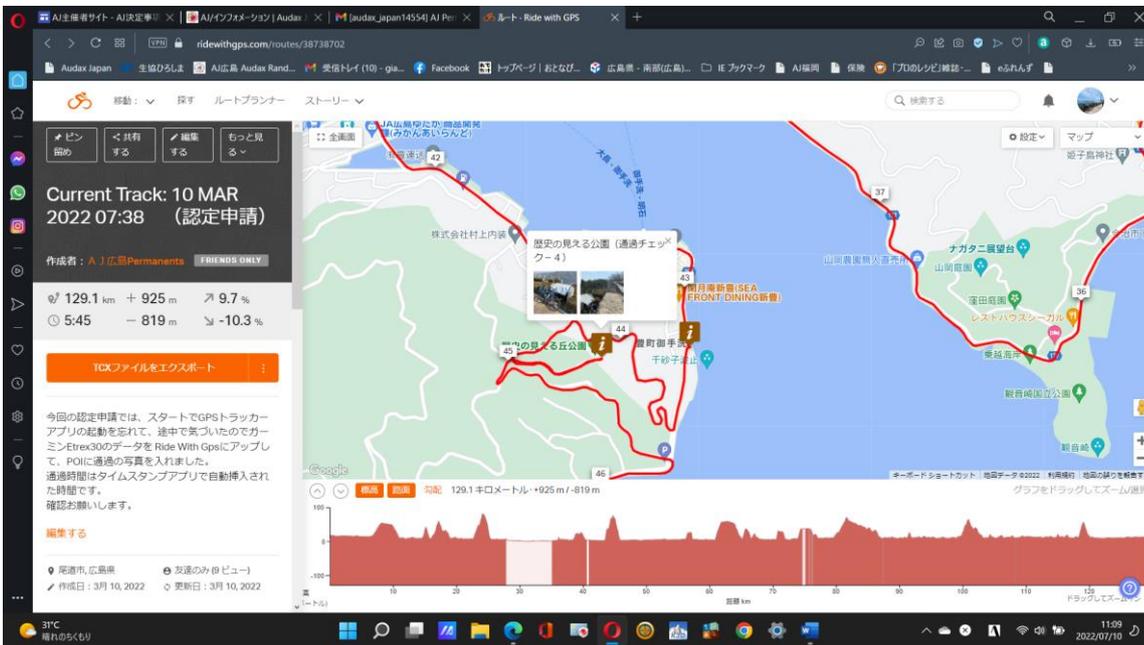
各地点で撮影が必要な写真には位置情報と通過時間を移し込んで、RWGPS 内にアップロードし、確認できるようにしています。



下の写真はスタート地点のもの(一部)



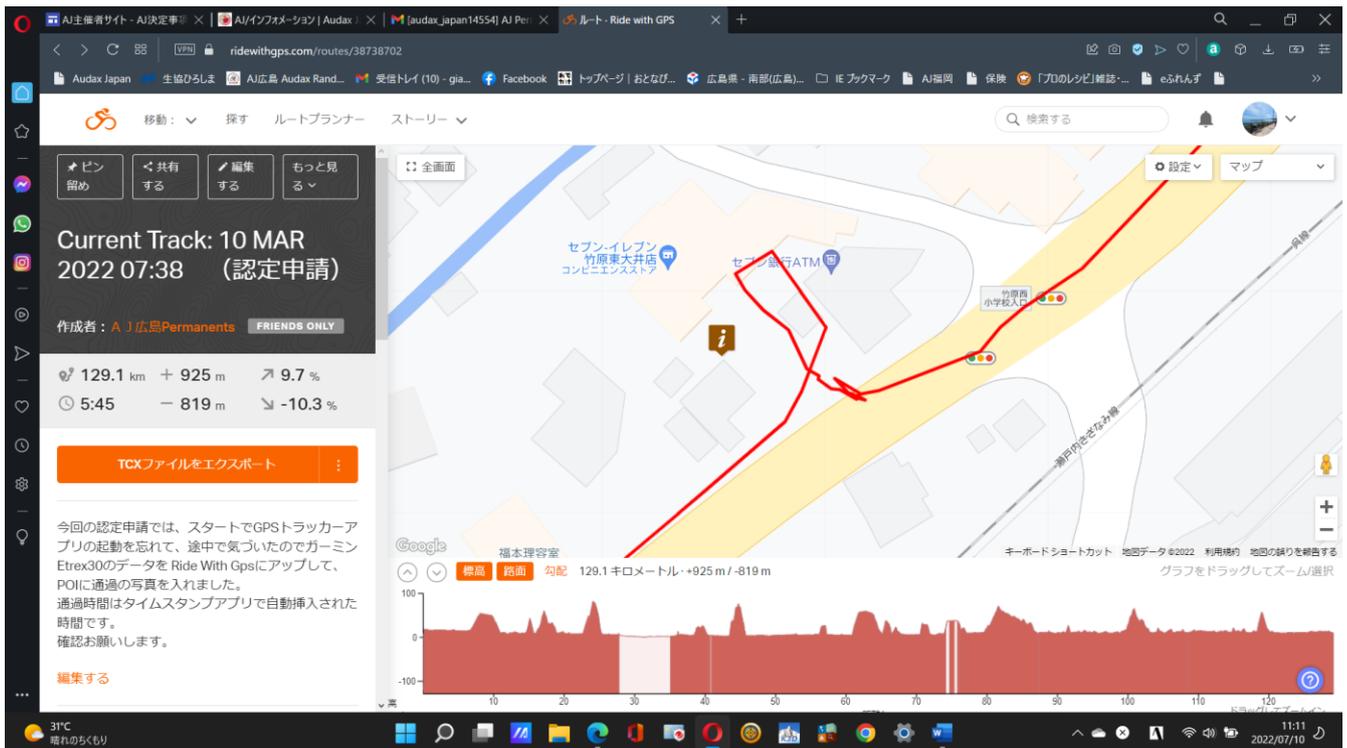
下の写真は、通過チェックでの通過時間等(2種類のスマホソフトで通過時間撮影)



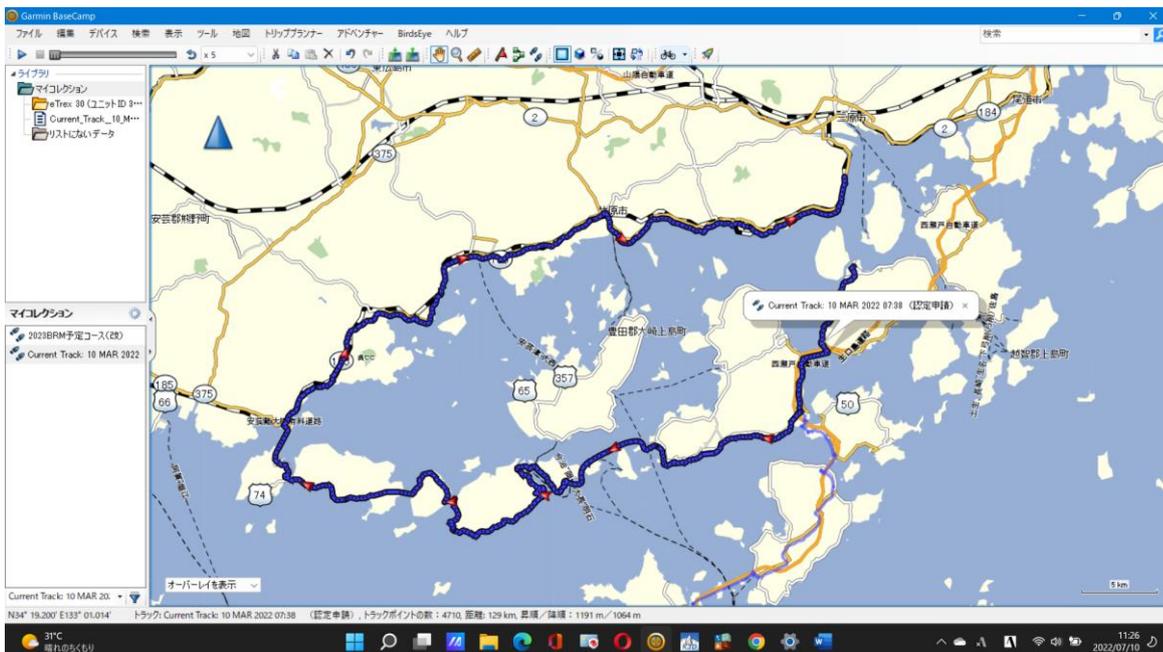
通過ポイントでの位置情報の変化

コンビニ店内を移動(スマホで位置情報を収集しているので)しているのもこのようなログが収集されます。

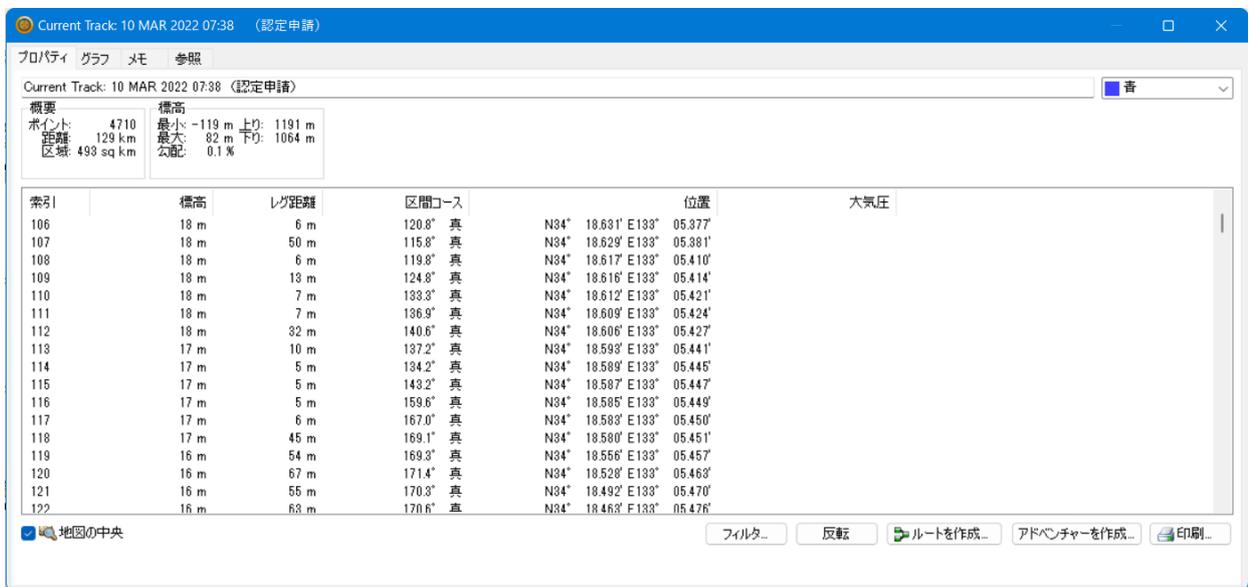
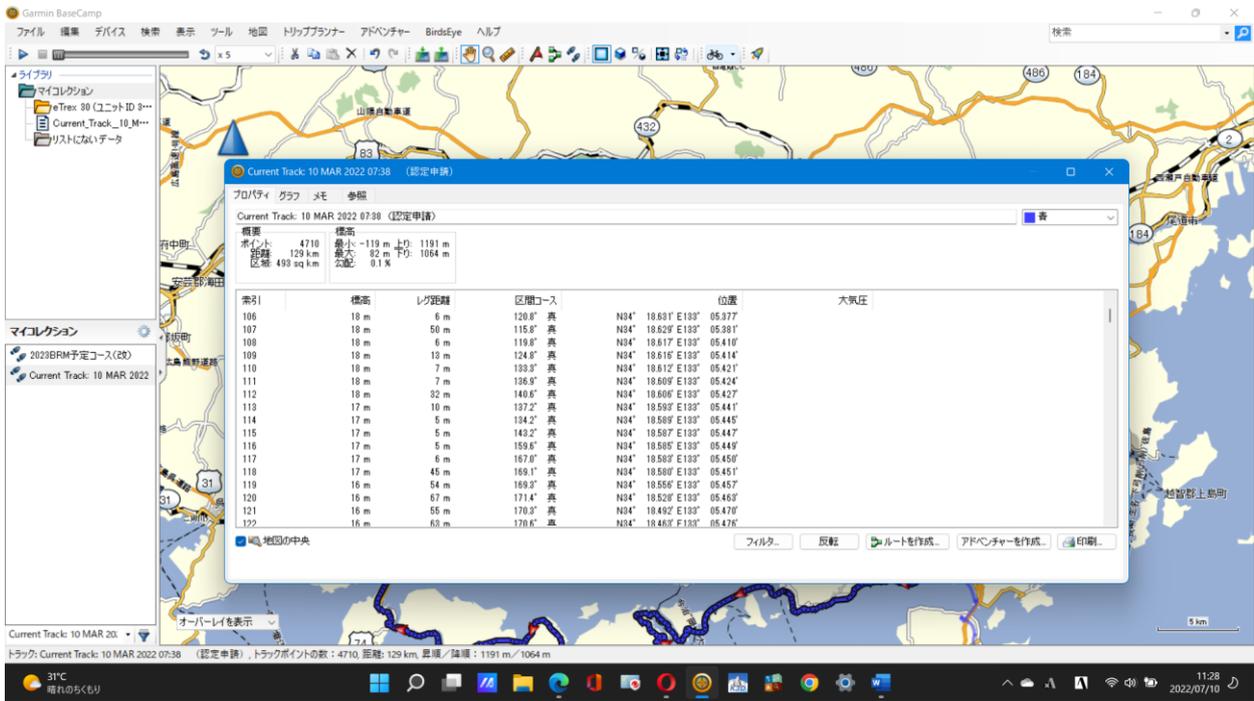
このようなログの変化などを主催者は確認します。



万一、申請された走行ログに不審な点があれば、参加者に質問を行います。
また、別のソフトでログを確認します。



ログの細かい位置情報なども確認する場合があります。



6 まとめ

電子的通過認証では、参加者の走行中の GPS ログデータを収集し、その結果でそのコースを忠実にオンルートで走行したかの確認(ショートカットや他の不正走行の防止)、通過チェックポイントの通過時間や正しくその時間にその場所で撮影されたかなどをオンラインでチェックを行い、認定を行うものです。

通過地点に QR コードの設置や、マラソンのようなチップ配布し走行時に携帯し各地点の通過を自動で確認記録するという方法もありますが、現状では費用もかかりますし、QR コード常設では許可も必要になると考えます。

従って現状では、少し参加者には手間をお掛けしますが、手持ちの器材を使ってログの収集等を行い、リザルトをまとめて頂いたうえで主催者にその URL を送っていただき、確認することとしたいと思います。

PC やスマホなど操作に慣れた方は、ここまでの操作についてはご理解と実際の操作は十分可能と考えます。従来の方法の Google フォームでのアップ、メールでの認定申請、そしてこの電子的通過認証(認定までは、オンライン限定公開として)のどれで申請を行うかの判断は、参加者が行って下さい。主催者側は、いずれにも柔軟に対応します。

ブルベカードまで電子化は不可能ではありませんが、まだそこまで浸透しているわけではなく、必要性を感じている方も多いので、ブルベカードが主催者と参加者間で一走行で数回の移動が生じますが、それはご理解頂きますようお願い申し上げます。

ご不明な点があれば、メールでお問い合わせ下さい。

問い合わせ先

ajhiroshima4@gmail.com